

# 1. 評価結果概要表

作成日 平成22年2月11日

## 【評価実施概要】

事業所番号	0172902553		
法人名	有限会社 あらた		
事業所名	グループホーム あすか		
所在地	北海道旭川市豊岡8条1丁目3番17号 (電話) 0166-33-2661		
評価機関名	タンジント株式会社		
所在地	北海道旭川市緑が丘東1条3丁目1-6 旭川リサーチセンター内		
訪問調査日	平成22年2月10日	評価確定日	平成22年2月15日

## 【情報提供票より】(平成22年1月10日事業所記入)

### (1) 組織概要

開設年月日	昭和(平成)18年3月9日		
ユニット数	2ユニット	利用定員数計	18人
職員数	17人	常勤	14人, 非常勤 3人, 常勤換算 11.7人

### (2) 建物概要

建物構造	木造 造り		
	2階建ての 1~2階部分		

### (3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	27,600円	その他の経費(月額)	19,200~32,200円	
敷金	有( ) 無( )			
保証金の有無 (入居一時金含む)	有( ) 無( )	有りの場合 償却の有無	有 / 無	
食材料費	朝食	400円	昼食	400円
	夕食	500円	おやつ	円
	または1日当たり 1,300円			

### (4) 利用者の概要(1月10日現在)

利用者人数	18名	男性	4名	女性	14名
要介護1	2名	要介護2	4名		
要介護3	5名	要介護4	4名		
要介護5	2名	要支援2	1名		
年齢	平均 83歳	最低	60歳	最高	92歳

### (5) 協力医療機関

協力医療機関名	医療法人社団 沼崎病院・医療法人 北彩都病院 医療法人社団 豊岡内科整形外科クリニック・医療法人 林歯科医院
---------	---

## 【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

住宅街に位置し、町内会役員を引き受ける等地域住民との交流・連携に取り組んでいる2ユニットのグループホームです。ホーム内は、清潔感が漂い行事参加の写真や利用者の習字等の作品が掲示されたり、観葉植物や花など飾られ家庭的雰囲気を感じられます。また、一人ひとりの好みや力を活かしながら玉ねぎ等の野菜の調理やおやつ作り、季節ごとの漬物漬け、日々の食後の食器洗い等職員が一緒になって本人から学んだり、支えあう関係を築いている様子が伺えます。本人の希望や意向に沿って、ラーメンや寿司等の出前の日を作って、楽しみごとへの支援も行われています。外部の専門家を招いて「口腔ケア」や「生活安全」等について内部研修会を実施しています。

## 【重点項目への取組状況】

重点項目	前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況(関連項目:外部4) 前回評価では、特段の改善点は見出されていませんでした。
	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4) 管理者及び職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、新たな気づきや改善課題を明確にしてサービスの質の向上に取り組んでいます。また、評価を通じて得た課題に対する検討や方策について運営推進会議に報告され意見交換されています。
重点項目	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6) 運営推進会議は、2ヶ月毎に実施され、主な議題は町内会への除雪の協力依頼について 旭川東警察署の協力を得た研修会実施の報告について 出前の日を設定した利用者の意向について AED、救急救命の訓練実施について 誕生会でのボランティア受け入れ実施について
	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7,8) 玄関に「御意見箱」を設置して、家族や来訪者等が意見や苦情等を言い表せる機会を設けています。また、苦情等の申し出先や事業所内の苦情処理体制が明示されています。日常生活の様子や健康状態等毎月ご家族への手紙を送付すると共に職員の紹介やホーム行事参加の様子等定期的に「あすか喜人愛楽」を発行して情報提供されています。
重点項目	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3) 法人代表者は、古くから町内に住み、開設前から役員を担い地域住民とは馴染みの関係が築かれています。また、資源回収等の町内会行事参加や老人会との交流、演芸やマジック、フラダンス等の地域のボランティアの受け入れを通じて認知症に対する理解や広報に努めています。町内会の除雪への協力等ホームの持つ機能の地域への還元にも取り組んでいます。

## 2. 評価結果（詳細）

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>. 理念に基づく運営</b>					
<b>1. 理念と共有</b>					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、「安心と尊厳のある生活、入居者が主体的な決定を行える、安らぎと自信を感じられる支援」について理念に盛り込んで事業所独自の理念をつくりあげている。		
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	管理者と職員は、ミーティングや朝礼を通じて理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる。		
<b>2. 地域との支えあい</b>					
3	5	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	法人代表者は、古くから町内に住み、開設前から役員を担い地域住民とは馴染みの関係が築かれている。また、資源回収等の町内会行事参加や老人会との交流、演芸やマジック、フラダンス等の地域のボランティアの受け入れを通じて認知症に対する理解や広報に努めている。		
<b>3. 理念を実践するための制度の理解と活用</b>					
4	7	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	管理者及び職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、新たな気づきや改善課題を明確にしてサービスの質の向上に取り組んでいる。また、評価を通じて得た課題に対する検討や方策について運営推進会議に報告され意見交換されている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5	8	<p>運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>運営推進会議は、2ヶ月毎に定期的開催されている。また、委員は地域住民が多く、入居者の近況や運営状況等を報告するなどして情報の共有がされ、抽出された課題については委員間で積極的に話し合われている。</p>		
6	9	<p>市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会を作り、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>	<p>事業所は、市担当者や包括支援センターとの連携の重要性を理解しており、相談等で行き来する機会をより多くつくることで、共にサービスの質の向上に取り組んでいる。</p>		
<b>4. 理念を実践するための体制</b>					
7	14	<p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>	<p>日常生活の様子や健康状態等毎月ご家族への手紙を送付すると共に職員の紹介やホーム行事参加の様子等定期的に「あすか喜人愛楽」を発行して情報提供されている。また、金銭管理については来訪時に出納帳、領収書を添えて報告している。</p>		
8	15	<p>運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>玄関に「御意見箱」を設置して、家族や来訪者等が意見や苦情等を言い表せる機会を設けている。また、苦情等の申し出先や事業所内の苦情処理体制が明示されている。</p>		
9	18	<p>職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>運営者及び総務課長は、労働環境を整え離職を抑え、馴染みの職員を継続的に支える体制に努め利用者へのダメージを極力防ぐ配慮をしている。</p>		


外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>5. 人材の育成と支援</b>					
10	19	<p>職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>外部の専門家を招いて「口腔ケア」や「生活安全」等について内部研修会を実施している。また、外部で行われる研修内容を休憩室に掲示するなど職員の育成に積極的な取り組みを行っている。</p>		
11	20	<p>同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワーク作りや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>市内の同業の事業所と協働し、職員の相互訪問、情報交換を実施するなど、ケアサービスの質の向上に努めている。</p>		
<b>.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
<b>1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応</b>					
12	26	<p>馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐徐に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p>	<p>本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、ホームの見学や自宅に赴き面談するなどし、職員や他の利用者、場の雰囲気徐徐に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している。</p>		
<b>2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援</b>					
13	27	<p>本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている</p>	<p>家族・入居者から生活歴を把握し、本人を介護される一方の立場におかず、油絵や植物の育て方、更には漬物作りなど一緒に過ごしながらか喜怒哀楽を共にし、支えあう関係を構築している様子が伺える。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
<b>1. 一人ひとりの把握</b>					
14	33	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めて、出前の日でラーメンや寿司等を食すなど本人本位に検討している。		本人の生活歴を把握する為に、センター方式が活用されている。今後は、さらに家族等の協力を得ながら活用されることを期待します。
<b>2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し</b>					
15	36	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、介護支援専門員の適切な監理のもとに、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、介護支援専門員の適切な監理のもとに、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している。		
16	37	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、介護支援専門員の適切な監理のもとに、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	介護支援専門員の適切な監理のもとに、モニタリングや個別記録のもとに、介護計画の見直しを行っている。また入居者に状態変化があった場合はミーティングを行い、現状に即した介護計画の見直しが行われている。		介護計画のサービス提供内容に基づいた介護記録が残されていることが伺えます。今後は、介護記録の帳票の改訂が検討されているので、その改訂作業が進むことを期待します。
<b>3. 多機能性を活かした柔軟な支援</b>					
17	39	<p>事業所の多機能性を活かした支援</p> <p>本人や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている</p>	本人や家族の状況、その時々要望に応じて、買い物や通院、自宅への送迎など入居者・家族の要望に応じて柔軟な支援が行われている。		特筆すべき点として、入居者の身体状態に合わせ、体操や散歩などをはじめ生活リハビリを行い、心体機能の低下を防ぐ取り組みが実践されている。

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働</b>					
18	43	かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	本人及び家族等の希望を大切に、かかりつけ医の受診を支援している。また、医師、歯科医師の往診等適切な医療を受けられるように支援している。		
19	47	重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、方針を職員間で共有している。		
<b>. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b> <b>1. その人らしい暮らしの支援</b> (1)一人ひとりの尊重					
20	50	プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	事業所の個人情報保護方針を明示し、職員間で共有している。また、一人ひとりの誇りやプライバシーに配慮した取り組みが行われている。		
21	52	日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	一人ひとりのペースを大切に、野菜等の調理や食器洗い、裁縫等本人の希望に沿った支援をしている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	一人ひとりの好みや力を活かしながら玉ねぎ等の野菜の調理やおやつ作り、季節ごとの漬物漬け、日々の食後の食器洗い等職員と一緒に本人から学んだり、支えあう関係を築いている様子が伺えた。		特筆すべき点として、本人の希望や意向に沿って、ラーメンや寿司等の出前の日を作って、楽しみごとへの支援も行われている。
23	57	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めず、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	本人の希望する曜日、時間等一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	一人ひとりの生活歴や力を活かしながら日常の家事仕事、油絵やカラオケ等の楽しみごと、気晴らしの支援をしている。		
25	61	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさず、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	一人ひとりのその日の希望にそって、スーパーへの買い物や散歩、果樹園、飛行場、外食など戸外に出かけられるよう支援している。		
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
27	71	<p>災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている</p>	<p>消防法改正によるスプリンクラーが設置されている。また、年2回消防署や地域住民の協力を得て、避難訓練を行っていると共に救急救命講習やAEDを用いた応急手当などを身につける訓練も行っている。</p>		
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	<p>栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	<p>一人ひとりの食事・水分摂取量が記録されていて、制限食にも対応されている。また、摂取カロリーや栄養バランスについては、協力病院の栄養士の助言・指導を受けながら支援している。</p>		
<b>2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり</b>					
(1)居心地のよい環境づくり					
29	81	<p>居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>利用者にとって気になる臭いや不快な音、光の強さは感じられない。また、ホーム内は清潔感が漂い行事参加の写真や利用者の習字等の作品が掲示されたり、観葉植物や花など飾られ家庭的雰囲気を感じられた。</p>		
30	83	<p>居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>本人や家族と相談しながら、家具や調度品は使い慣れた物を持ち込み本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>		

 は、重点項目。

WAMNETに公開する際には、本様式のほか、事業所から提出された自己評価票（様式1）を添付すること。